

「第3次豊橋市産業戦略プラン（案）」についての意見募集結果

1. パブリックコメントの概要

○案件名：

第3次豊橋市産業戦略プラン（案）

○担当課：

産業部産業政策課

○意見募集期間：

2022（令和4）年1月11日（火）～同年2月9日（水）

○提出者数：

1人

○意見の件数：

3件

○結果の閲覧場所：

下記の場所の開館日にて、令和4年3月1日（火曜日）から令和4年4月1日（金曜日）まで閲覧できます。以降は、ホームページでのみ閲覧できます。

- ・産業部産業政策課（東館10階）
- ・じょうほうひろば（東館1階）

○修正案：

第3次豊橋市産業戦略プラン（案）に対する意見等を踏まえ、修正案（最終版）を作成しました。

2. 意見の概要と市の考え方

寄せられた意見の概要及び意見に対する市の考え方は次のとおりです。

No	意見内容	対応
1	<p>本計画策定に最も影響を及ぼすであろう、「人獣共通感染症 COVID19」の今後の見通しについて</p> <p>計画には、確たる論拠も、期日の明示もなく、この感染症は収束するとの見込みに基づいて組み立てられた案であると解釈しました。わたしは、以下の観点から、多種多様な感染症の高次の蔓延リスクは、計画の中に反映されるべきだと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋をコアにした全球的な温暖化は更に進む ・長距離かつ高速の人、物の移動は増大する ・諸外国と比較した港、空港での検疫体制の脆弱性 ・縦割り行政の弊害で、保有している防疫能力を活かし切れていない <p><事例></p> <p>豚熱(旧呼称:豚コレラ)を、初動のミスで風土病化してしまったこと。より深刻なアフリカ豚熱が、隣国中国まで迫っているが、NZ や AUS と比較すると未だに大穴だらけの港湾・空港の防疫体制のまま。</p>	<p>参考意見として受け止めさせていただきます。</p>
2	<p>SDG's の観点から、人工の悪港である三河港は、順応的管理下に置き、大水深バースから浅水深バースを目指すべきでは？</p> <p>三河港は、土砂を運びつつ地域を流れ下る 6 河川の河口干潟” 六条潟” の埋立浚渫によって造営されたものです。現存施設は有効に活用することが望まれるものの、夏季には港湾の公害” 青潮” の原因となる大規模な貧酸素水塊を生成してしまいます。</p> <p>河川の土砂運搬と堆積と言う、太古からの自然の営みを妨げることのない港の運営が、未来から求められていると、わたしは理解しています。肥大化する海上物流・旅客輸送に、単純にコスト安だけを追い求めて巨大化した船舶の概念を、三河湾から刷新しませんか？「港を汚さず豊かな川や海と共存する港湾と船舶デザイン」、豊橋市から発信できると思います。</p>	<p>参考意見として受け止めさせていただきます。</p>
3	<p>産業プラットフォームの構築</p> <p>自他共に認めるお百姓の街、豊橋に根付いている幾つかの既存産業に、次世代産業への発展の可能性を感じます。ただ、20 世紀型の展開では難しいのではないかと感じます。</p> <p>以下の調査研究施設を核として有機的に繋がっていければ、地勢に無理なく持続的に地域の発展は出来るのではないかと期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲノム解析を行える研究施設 ・ナノセルロース社会実装化拠点 ・情報通信分野の研究拠点 	<p>参考意見として受け止めさせていただきます。</p>